

「再誕生」のワークとは何ですか？

脳内の記憶は、海馬が発達する生後18ヶ月後からになりますが、身体にも記憶があります。その記憶は、ある環境を整えることによって呼び覚まされます。今回は、身体にある「誕生反射」を用いて「生まれる」体験をしてみます。

胎児にとっての出産は、私たちにとって全身でエネルギーを使う人生最初の体験になります。その体験は、『私たちがどうやってエネルギーを溜め込み、適切な時期に全エネルギーを使って行動に移し、何かを達成する』ひな形となるのです。再誕生のワークを行う目的は、このようなエネルギーサイクルを身体全身にしっかりと根付かせることです。

講師略歴

齊藤 素子 (さいとう もとこ)

Yoga & Wellness Chandra 主宰・女性外来 総合診療科 外科医 (<http://ameblo.jp/motopikay/>)

2006年3月5日に初めてAshtanga yogaを習い衝撃を受ける。2006年9月タイのサムイ島にあるYoga Thailandでの1週間のアシュタンガ・リトリートに参加。その後は定期的に年に2回2週間ずつYoga Thailandを訪れ、主にPranayama intensive training courseをSri. O.P.Tiwarijiから、アシュタンガをPaul Dallaganから習う。2006年11月から12月にかけてIYC短期集中コース終了。この頃から、現代医学でカバーしきれない部分と、体のみの治療で心のケアがされていない外科の問題点に疑問を感じ始める。2008年4月外科医の仕事を一時的に退職しアメリカへ。5月末に帰国し日本アールヴェーダ・スクールにてアールヴェーダ・ライフスタイル・カウンセラーの資格を取得。Yogaを医療に結び付けたいと考え準備を始める。同年7月から大学付属病院医師に一時復帰した後、10月に所属していた大学病院外科医局を退局。再びアメリカへ渡り、2008年11月～翌2月カリフォルニアのAnanda Seva Missionにて全米Yoga Alliance 認定300時間のヨガセラピストの資格を取る。そのトレーニングコースで、アメリカでのYoga Nidraの第1人者Richard Miller氏から直接教えを受け感銘。2008年12月IYCヨガベーシック(中級)指導者養成コース終了。2008年12月27・28日福岡にてPaul Grilleyの陰ヨガトレーニングプログラムに参加。2009年2月にKripalu Center for Yoga & Healthで行われたYoga Nidra Level I Training Courseに参加し再びRichard Miller氏より直接教えを受ける。2009年4月より福井県の病院で消化器外科・女性外来専任医として仕事を再開。同月より富山県魚津市のクリニックでも女性外来を担当。併設のスポーツクラブでアシュタンガのクラスとヨガセラピーのクラスの担当を始める。2010年6月大阪でJodi Booneによるマニティエーヨガ指導者養成コース終了。2011年3月Yoga Thailandにて全米ヨガアライアンス200時間認定(Centered Yoga 認定)ヨガインストラクターの資格取得。

大滝 涼子 (おおたき りょうこ)

Yoga Ratna 主宰・ヨガセラピスト (<http://specialyoga.asia/>)

大学時代(アメリカ)では心理学や人間発達、家族関係などを専攻。2005年よりヨガを始め、東京やシンガポールで練習を積む。2007年Sun&MoonYoga(東京)でハタヨガ指導者養成講座、また陰ヨガ指導者養成講座を終了。2009年ロンドンの大学院にて精神分析的発達心理学を勉強すると同時に、子どものヨガや心身に障害を持つ子どものためのヨガセラピーを学ぶ。ロンドン市内の特別擁護学校やヨガスタジオで、脳性麻痺、ダウン症、発達障害、自閉症、ADHDなどの子どもたちとヨガをする。2010年1月帰国。現在、都内の児童養護施設や学校で活動中。3月11日の震災後は、災害後のこころのケアや心理社会的支援の研修に携わっており、国内外のNGOや学会と提携したプロジェクトや、子どものこころのケアに関する研修にも関わっている。テンプル大学心理学研究学部卒業。ロンドン大学大学院/アンナフロイトセンターにて精神分析的発達心理学修士課程取得。Sun&MoonYoga 認定ハタヨガ指導者養成講座修了。Sun&MoonYoga 認定陰ヨガ指導者養成講座終了。Yoga for the Special Child 認定 Sonia Sumar メソッドによる子どものためのヨガセラピー講座終了。Special Yoga Centre (ロンドン) 認定発達障害をもつ子どものためのヨガセラピー講座終了。Yogacampus (ロンドン) 認定子どものヨガ指導者養成講座修了。

贅川 治樹 (にえかわ はるき)

リズムセラピー研究所 所長・越後奥泉庵 庵主・EABP 認定ボディサイコセラピスト (<http://www.rhythmtherapy.jp/>)

『EABP (ヨーロッパ・ボディサイコセラピー協会：オランダ)』認定ボディサイコセラピスト。『バイオシンセシス・インターナショナル (スイス)』認定ボディサイコセラピスト。『BIPS (BIO Integral Psychotherapy School)』ディレクター、及びトレーナー (ヨーロッパ・ボディサイコセラピー協会認定校)。『Structural Integration and Alternative Health 財団 (アメリカ)』認定シン・インテグレーション上級施術者。『セロトニン道場』師範。『九州大学』非常勤講師 (2008年度21世紀プログラム)。『ヤマハ』認定ヘルスリズム・ファシリテーター。1981年より女性ヴォーカリスト浜田麻里のツアードラマーとして武道館、NHKホール、中野サンプラザを初め全国で公演。1992年に心理学博士でありロルフアーのマーク・カフェル氏に師事し「シン・インテグレーション」資格取得。1995年に「シン・インテグレーション」上級資格取得。1998年バイオシンセシスのディプロマ取得。1993年より東京にて「インナーサイレンス」というセッションルームを開設し、シン・インテグレーションとボディサイコセラピーのセッションを、延べ数万人の方に行うとともに、バイオシンセシスのワークショップを年3回主催する。2005年～2009年は、ヤマハ株式会社にて「音楽と健康」についてのプログラム開発と楽器開発のアドバイザーに就任。2006年には、名称を「インナーサイレンス」から「リズムセラピー研究所」に変更し、ボディサイコセラピーにドラミングを取り入れる。2006年から『BIPS (BIO Integral Psychotherapy School)』のセラピスト養成コースを開始。その他、韓国政府青少年委員会支援のもと、ソウルの精神科医呂寅仲氏と行った「ひきこもり」の青少年たちへのドラミングを利用した治療プログラム、乳幼児突然死症候群の国際会議で遺族に対する音楽療法、自治体の高齢者のための介護予防教室、東邦大学医学部有田秀穂教授が代表を務めるセロトニン道場のプログラムなどを行う。

「越後奥寂庵リトリート」申込書

このたびは、「越後奥寂庵リトリート」にご興味をお持ちくださり、ありがとうございます。お申込みは、下記のフォームにご記入の上、FAX、もしくはメールにてリズムセラピー研究所まで送付してください。

なお、参加費の振込みを持ちまして、正式申込みとさせていただきますので、ご了承ください。また、領収書をご希望の方は、準備をいたしますので、必ずご記入ください。

当日、お会いすることを、スタッフ一同、楽しみにしております。

越後奥寂庵リトリート スタッフ一同

◎お申込み先：リズムセラピー研究所 FAX：050-3488-7614

Mail：innersilence@rhythmtherapy.jp

◎お支払い先：みずほ銀行 北沢支店 普通 2590780

口座名義 リズムセラピー研究所 代表 贅川治樹

お名前：
ご住所：
携帯電話番号：
E-MAIL：
領収書： 希望・希望しない（ご希望の方は、宛名をご記入ください）
今回の催しをどちらでお知りになりましたか？
連絡欄

※個人情報の取り扱いに関しましては、以下のサイトをご確認ください。

<http://www.rhythmtherapy.jp/privacypolicy.html>